

## 2017年フォーラムプログラム詳細

フォーラム番号	Y6	GIA
---------	----	-----

企画委員会	ドライブレコーダ活用委員会		
-------	---------------	--	--

テーマ名和文	ドライブレコーダ活用の最前線
テーマ名英文	The front line of drive recorder applications
テーマ名副題和文	
テーマ名副題英文	

開催日	2017/5/24	PM
会場名	パシフィコ横浜アネックスホールF204	

参加のすすめ	<p>ドライブレコーダは業務用車両にここ数年で急激に普及し、用途も事故抑止や事故時過失割合の科学的判定に留まらず、科学的安全教育への活用などで効果を発揮している。そして蓄積データを基に予防安全装置の設計指針、事故解析、運転診断や教育システムへの展開、道路環境・インフラの評価など多岐に渡った活用がすでに具体化している。また、最近では自動運転技術に注目が集まっているが、その中でドライブレコーダが果たす役割もさらに大きなものになると考えられる。</p> <p>本フォーラムでは多様化しつつあるドライブレコーダの普及・技術・活用状況に鑑みて、今後の技術や活用のオールジャパン展開のあり方について産・官・学・民の幅広いセクターの見解を紹介してもらい、会場参加者との討論も交え、より広範な理解向上と普及促進・事故削減を目的とする。尚、本フォーラムは共同研究センター「ドライブレコーダ活用委員会」主催、外部組織「一般社団法人ドライブレコーダ協議会」との協賛で開催する。</p>
--------	---

関連分野	⑦安全
------	-----

### プログラム

開始時間	終了時間	役割	演題	氏名	勤務先
13:30	13:35	司会/挨拶	開会挨拶	永井 正夫	日本自動車研究所
13:35	14:05	講演者	ドライブレコーダーの現状と進化 ～画像データのさらなる活用に向けて～	白石 春樹	富士通テン
14:05	14:35	講演者	東京農工大学 ヒヤリハットデータベースの現状と活用研究の紹介	大北 由紀子	東京農工大学
14:35	15:05	講演者	事業用車両におけるドライブレコーダーの活用について～画像データ自動分類にむけた実証実験結果～	榎田 修一	九州工業大学
15:05	15:20	講演者	ドライブレコーダー画像データ自動分類による教育効果可能性	北村 憲康	東京海上日動リスクコンサルティング
15:20	15:25		質疑		
15:25	15:35	休憩			
15:35	16:05	講演者	高齢者講習におけるドライブレコーダーの活用	岡本 努	警察庁
16:05	16:35	講演者	高齢ドライバーデータベース”Dahlia”とその活用	青木 宏文	名古屋大学
16:35	17:05	講演者	貸切バス事業者によるドライブレコーダーを活用した運転者の指導・監督について	平井 隆志	国土交通省
17:05	17:10		質疑		
17:10	17:15	挨拶	閉会挨拶	堀野 定雄	神奈川大学